

2014. 6・8 復興大学 2014 現地踏査学習会

日時：2014年6月8日

場所：名取市閑上地区、愛島東部仮設



復興大学現地踏査学習会が閑上地区と愛島東部仮設住宅で行われた。2012年6月からスタートして今年で3回目になる。

午前中は閑上地区に入り、「閑上の記憶」の協力をいただき語り部さんの案内で津波被害を現地で確認しました。閑上に住む多くの住民が津波に対して意識が低かったこと、避難を呼びかける機器が地震で機能しなかったことが被害を大きくした要因のひとつであることなどが話されました。



地震があった場合、沿岸部では津波を想定して身の安全をはかり、早く避難するよう心掛けること、日頃から訓練や避難場所の確認をしておくことが重要である旨のお話をいただきました。



閑上地区での学習の後は、愛島東部の仮設団地で住民の皆さんとの交流会に参加しました。

交流会では、住民の皆さんから震災当日の話や避難所での様子、仮設住宅での暮らしの様子などについて詳しくお話しをしていただきました。参加の学生からは、異口同音に新聞やテレビでは判らない被災の現実に触れる事ができた。この経験を次の震災、防災にどう活かすかが大切であるなどの意見やまとめが話されました。



震災を中心話題した交流会の終盤は、歌や踊りを交えた交流会となり、閑上大漁祝い歌などをみんなで歌い踊って交流を深めることができました。

現地踏査学習会があった時期は、愛島東部仮設住宅の移転問題があり、住民の皆さんは落ち着かない日々を過ごしていた頃ですが、それでも災害や防災を学ぶ学生たちに頑張って勉強して欲しい、災害のない日本にして欲しいなどのお話しをしていました。



其々の夢や希望を持ち笑顔で記念撮影。



帰りの会では、参加学生に住民さんから勉強や研究を頑張ってください、今日話したことがこれからの防災や減災に役立てば嬉しい。自分たちも皆さんの暖かい励ましを無駄にしたいくない、一日も早く元気になります。互いに頑張りましょうと励ましの約束をしておりました。



振り返りの会では其々に今日経験したことをまとめ、簡単に発表し成果や課題を共有することができました。

学校に戻ってからは、グループごとに現地で学んだことを加味して更に掘り下げたものにしていく予定です。

防災や震災復興、其々の進む道に本日の経験が活かされますことを・・・。